



令和6年京都市はたちを祝う記念式典を開催！

京都市はたちニュース

「京都で人とつながる 夢がひろがる」

「はたちを祝う記念式典」に 多くの皆さんにご参加いただきました。

1月8日（月・祝）にみやこめっせ（京都市勧業館）で開催した「令和6年京都市はたちを祝う記念式典」には、5,542名の方が参加され、厳粛な中にも温かみのある式典となりました。

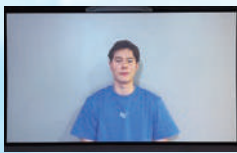
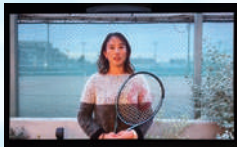
優雅な音色と
華麗な踊りで
はたちを迎える方々
をお迎えしました！

式典のオープニングとして、市立芸大のエトワールカルテットによる弦楽四重奏、京都ハンナリーズオフィシャルチアダンサー「はんなりん」によるチアリーディング、京小町踊り子隊によるお祝いの踊りを披露いただき、お祝いの雰囲気が高まる中、式典がスタートしました。



京都市出身の
スポーツ選手から
お祝いメッセージが
届きました！

2023年全仏オープン混合ダブルスで優勝されたテニス選手の加藤未唯さん、2024年パリ五輪を控えるバレーボール日本代表の高橋藍さんのお2人から熱いメッセージをいただきました。



華包贈呈

稲田新吾京都市教育長、吉田良比呂京都市副市長、澤村悦弘ユース21京都理事長から二十歳の誓い発表者に、京都の若手華道家達が現代に復活させた江戸時代のいけばなの伝書に残る「華包（はなつつみ）」が贈られました。



西村議長から はたちを迎えられる皆様へ

西村義直京都市会議長から、「どのような状況にあっても自分の可能性を信じ、何事にも果敢にチャレンジ」「政治やまちづくりに積極的に参画していただきたい」とのお祝いの言葉が贈られました。



門川市長から はたちを迎えられる皆様へ

門川大作京都市長から、「人生に無駄なことなし」「迷った時は困難な道を選ぼう」「京都の更なる前進に向けて皆さんに参画していただきたい」との式辞がありました。



参加者代表による「二十歳の誓い」



川合 啓太さん

高校の野球部で副キャプテンを務めた際、部員が思うように動いてくれず、なんでこんなにしんどいことをしているのかと思っていた時、京セラの創業者、稲盛和夫さんの本で「利他の心」という言葉に出会いました。その時から、人が喜ぶ姿や楽しんでいる姿を見ることが、いつも私を動かす原動力になっています。

今、世界は平和といえる状況では決してありません。将来私はそんな世の中を変えてみせます。簡単ではありませんが、「利他の心」を忘れず、次世代を引っ張っていきける人になることを二十歳の誓いとしています。



今井 宝希さん

両親からいつも言われていたのは、「好きなことを見つけなさい。そしてそれを仕事にしてください。」という言葉でした。本当に楽しいこと、好きなことを見つけるといのはとても難しかったですが、友達から誘われた漫才が好きなことを見つける出発点となりました。

私の将来の夢は教師になることです。両親がしてくれたように主体性を重んじ、一人ひとりの個性を尊重し、何より生徒を巻きこんで楽しい授業をする「面白可笑しい先生」になりたいです。



柏原 李咲さん

私は幼い頃から水泳選手として過ごし、身体を動かすことが生きがいでしたが、高校1年で「化学物質過敏症」を発症しました。学校にも行けなくなり、夢や意欲を失っていた時、担任の先生が生徒会やボランティア活動への参加を勧めてくださいました。そして、「新しい環境」で楽しさや嬉しさを感じるようになると、「隠したい」「苦手」とする部分を個性や特性と捉えることができるようになりました。

私が経験した苦しいことや克服したことをこの場で話すことで、誰かの背中を押すことができればと思っています。



古川 夏帆さん

小中高と成績優秀で、そのことを自分でも誇りに思っていました。合格した京大では、周りは自分より優秀な人間ばかりでした。「こんなんあかん!このまま終わるんは嫌や!」と奮起し、勉強面では勝ち目がないなら別の方法を考えようと、私が立てた新たな目標は、「誰よりも面白くて充実した大学生活を送る」ということでした。

これからも様々なことにチャレンジし、経験と知識を積み重ね、コミュニケーション能力を向上させて、自分の世界を広げていきます。



懐かしの給食コーナー

式典終了後は1階イベント会場に移動し、中学校パネルを設置した「私たちの集いコーナー」で同級生同士写真を撮り合うなど、懐かしいひと時を過ごしていました。また、裏千家淡交会青年部の皆さんによる「お茶席」、新洞学区の皆さんによる「振舞い餅」、京都市学校給食研究会の皆さんによる懐かしの給食メニュー「プリプリ中華いため」や「三色ゼリー」が振舞われ、地域企業である京都ハンナリーズの皆さんには「ミニバスケット体験」ができるブース展示、京都写真家協会・(株)日吉屋の皆さんには撮影スタジオの設置にご協力いただきなど、お祝いムード一色の中、おもてなしを楽しんでいました。

お祝いムードに溢れたイベント会場の様子



京都ハンナリーズブース

撮影スタジオでの記念撮影



餅つき・振舞い餅コーナー



お茶席

おめでとう・ ありがとうの手紙

はちを迎えた方から、家族から、気持ちを伝える「おめでとう・ありがとうの手紙」。たくさんのご応募ありがとうございました。受賞作は下記に記載のオフィシャルサイトからご覧ください。



小学校4年生（10歳）がこれまでの成長を振り返り、将来を考える「1/2成人式」。当日は、児童と保護者の方が会場の受付で、参加者に「おめでとうございませす!」と元気な声をかけてくれました。その後、参加者とともに式典にも参加しました。

1/2成人式

様々な理由で20歳の時に式典に参加できなかった方で、改めて式典に参加したい方を招待しています。今年は5名の方が参加されました。

思い出成人式

